

一年間、お世話になりました

中学校では卒業式が終わり、小学校では卒業式に向けて練習が行われている頃と思います。また、今月は各学校でまとめの学校運営協議会が開催され、今年度の総括が行われたことと思います。各校を担当する地域学校協働活動の推進員も協議会の中で、今年度の活動及び次年度の要望等についてお話をさせていただいたと思っています。

今年度一年間、それぞれの学校をご支援いただいたボランティアの皆様には心より感謝申し上げます。そして、次年度も同様のご協力、ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の更なる一体的推進（双方向からの交流）を目指して

これまでも紙面を借りて紹介してきましたが、上記の取組について少しずつではありますが広がりを見ることができました。具体的にはこれまでほとんど地域のボランティアによる学校支援を主とする一方向による交流だったものが、学校（児童・生徒）が地域行事へ参加、参画する活動が増えたことです。このことにより、**双方向からの交流の拡大**につなげることができました。例えば、今年度は「うと地蔵まつり」の造り物を小学生が制作して出展する活動がありました。加えて、その制作に際して、学校と地域を推進員がつなぐ役割を果たしたことにこの活動の意義が大いにあると思います。

先月、地域学校協働活動推進事業第2回運営委員会を開催しました。その中で、私の方からそのことを強調して委員の皆さんに説明をしました。

更に次年度、地域活動へ児童・生徒が参画する活動（**双方向からの交流活動**）として、以下の4点について提案しました。

①異世代交流活動として独居老人宅訪問

②通学路点検を兼ねたカーブミラー清掃

③校区の防災訓練への参加

④認知症サポーター養成講座への中学生の参加

委員からは、①独居老人宅訪問を既に実施している学校があるとの意見がありました。また、④については、私からほとんどの小学校で児童は講座に参加しているのでこれを中学校へつなげて、小から中への縦のつながりのある持続的な活動を目指すことが大事であると説明しました。

また、ある委員からは、月に一度発行の地域学校協働活動便り「結」について、ホームページに掲載されたことは良いが、最近ではパソコンを開いて閲覧する方の数も少なくなっているのではないかと。むしろスマートフォンで手軽に見ることができる配信の工夫が必要ではないかと。また、活動の結果が主な内容になっているが、次月の活動予告等を掲載することで情報が広がり支援の輪も広がるのではとの意見をいただきました。

貴重なご意見をたくさんいただくことができました。この場でいただいた貴重なご意見を次年度の取組に反映させていきたいと思っています。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。